

# 平成22年度

## 地域ぐるみの子ども読書活動

### 推進事業実施報告書

中学生への事業紹介 ②.  
近所のおばちゃんのお読み聞かせ編.



奥州市子ども読書活動推進事業実行委員会

(独立行政法人国立青少年教育振興機構委託事業)

■読み聞かせ実施状況

学 校 名	ボランティア 人数(延べ)	月 日	対象者
水沢中学校	5人	9月13日、14日、15日、 16日、17日	特別支援学級 8人 (×5回)
東水沢中学校	13人	11月10日 11月24日	全校生徒 (13クラス) 436人 (×1回)
水沢南中学校	20人	11月2日、4日、5日	全校生徒 (20クラス) 752人 (×1回)
江刺第一中学校	51人	10月12日、13日、14日、 11月9日、10日、11日、 12月7日、8日、9日	全校生徒 (17クラス) 583人 (×3回)
田原中学校	1人	11月26日	全校生徒 9人
江刺南中学校	2人	9月19日	3学年 33人
江刺東中学校	4人	11月5日	1学年 (2クラス)、2学年 (2ク ラス) 93人
前沢中学校	18人	11月9日、11日、16日、 18日、26日、30日	1学年 (3クラス) 106人 (×6回)
小山中学校	8人	11月1日、9日、15日、30日	3学年 (2クラス) 68人 (×4回)
南都田中学校	8人	12月6日、7日、8日、9日	1学年 (2クラス) 49人 (×4回)
若柳中学校	16人	11月29日、12月1日、2日、 3日	全校生徒 (4クラス) 107人 (×4回)
衣川中学校	8人	9月19日、10月27日、28日、 11月2日、4日、8日、9日	全校生徒 (4クラス) 123人 (×2回)
12校 計	154人	46日	延べ 4,890人

■読書ボランティアによる読み聞かせ 協力者名簿

	氏名	居住区		氏名	居住区		氏名	居住区
1	阿部 敬子	前沢区	11	佐々木政子	胆沢区	21	畠田奈美子	水沢区
2	阿部 政子	水沢区	12	佐藤 妙子	前沢区	22	花泉 雪子	水沢区
3	及川 典子	江刺区	13	菅原 永子	前沢区	23	藤井 江里	水沢区
4	及川愛美子	水沢区	14	菅原 圭子	前沢区	24	武藤 秀郷	江刺区
5	門脇 愛子	前沢区	15	菅原ルミ子	衣川区	25	三浦 君子	江刺区
6	菊池千賀子	水沢区	16	高橋 純子	江刺区	26	吉田あや子	前沢区
7	菊池話佳子	江刺区	17	高橋るり子	水沢区	五十音順		
8	工藤 洋子	前沢区	18	千田 誠子	前沢区			
9	熊谷 洋子	江刺区	19	千葉やす子	水沢区			
10	佐々木和子	前沢区	20	新渡戸智子	水沢区			

■読み聞かせ書籍リスト

	書籍名		書籍名
1	100万回生きたねこ	21	おきなわ島の声
2	青いオウムの話	22	おこだでませんように
3	青葉の笛	23	お月お星 (民話)
4	あなたがうまれたひ	24	おともだち おまじない
5	あのとすききになったよ	25	おならうた
6	あらしのよるに	26	おねえちゃんとわたし
7	ありがとう	27	お能の絵本シリーズ「海女の珠とり」
8	ありがとう ともだち	28	おまえうまそうだな
9	ある男の話	29	おんなの詩
10	アルジャーノンに花束を	30	かえるをのんだととさん
11	あるはれたひに	31	かたあしだちょうのエルフ
12	いいからいいから	32	語られると怖い話
13	いつでもあえる	33	学校生活最後の旅
14	上野の清水 (姉体の伝説)	34	かっぱのこうやく (民話)
15	うみやまがっせん	35	かみさまからのおくりもの
16	エゾオオカミ物語	36	紙芝居「おとわ観音」
17	エリカ奇跡のいのち	37	かわいそうなぞう
18	大型絵本「おじいさんのかさ」	38	きつねのでんわボックス
19	オオカミ グーのはずかしいひみつ	39	清十の花
20	大きな木	40	禁じられないのり遊び (んまんま)

	書籍名		書籍名
41	金の神が負けたわけ	75	ともだち ひきとりや
42	くじけないで	76	トンちゃんってそういうネコ
43	くまとやまねこ	77	ないたあかおに
44	こおろぎとおきやくさま	78	にじいろのはな
45	子どもたちの遺言	79	ねずみきょう
46	ご飯粒みえた	80	ノンタンおはよう
47	今昔物語集	81	博士の愛した数式
48	酒を飲む大地	82	はしるチンチン
49	さっちゃんのまほうので	83	はだしのゲン
50	伸ちゃんのさんりんしゃ	84	花いっぱいになあれ
51	スーホーの白い馬	85	バラスの図書館員
52	すき	86	干からびた象と象使いの話
53	ストライプ	87	ひとりぼっちじゃないよ
54	せいぎのみかた (ドラフラ星人の巻)	88	百人一首
55	聖なる晩餐 (んまんま)	89	フレデリック
56	世界でいちばんつよい国	90	ぼくがラーメンを食べているとき
57	戦争を平和にかえる法	91	ぼちぼちいこか (金子みすず童話集)
58	像の背中～旅立つ日～	92	ぼんぼん山の月
59	だいじょうぶだいじょうぶ	93	まだ17才だけど人生って面白いと思う
60	たいせつなこと (金子みすず童話集)	94	祭の晩 (宮沢賢治)
61	たった一つの命だから	95	丸ごとスイカ
62	ダンゴむしみつけたよ	96	ミサコの被爆ピアノ
63	小さな祈り (詩画集)	97	むかでのいしゃむかえ
64	注文の多い料理店	98	もこもこもこ
65	月人石	99	もったいないばあさん
66	つみきのいえ	100	ももたろう (松谷みよ子)
67	であえてほんとうによかった	101	約束～「無言館」への坂をのぼって
68	てん	102	やさしいライオン
69	電池が切れるまで	103	やまなしもぎ
70	トイレの神様 (絵本)	104	やまんばと菖蒲 (民話)
71	動物の死はかなしい? 元動物園飼育係 が伝える命のはなし	105	ゆうたのおかあさん
		106	夢見小僧
72	豆腐と蒟蒻 (陸前陸中の昔ばなし)	107	義家杉 (日高神社の神木)
73	年老いたメス狼と女の子の話	108	若き友よ
74	ともだち	109	わたしはむかし...

## ■読み聞かせボランティアの感想（従事記録より）

- ・初めての読み聞かせだったが子どもたちと関わることができ、幸せな10分間を過ごすことができた。
- ・最終日に「また来てほしい」と言われ、うれしかった。
- ・生徒が、絵本を通して誰かの思いを察することは「思いやり」の芽生えだと思う。
- ・受験勉強で大変な時期に、10分間の話をしっかり目を見て聞き、最後には拍手をいただいた。
- ・生徒から「読み聞かせをしてもらったことがなかったのととてもうれしかった」との感想があった。ボランティアをして良かった。そして元気をいただいた。
- ・感想を聞き、内容がしっかり伝わっていると分かり、うれしく思った。
- ・素直な生徒たちで、聞く姿勢も良かった。雰囲気も良くて楽しくできた。
- ・読み始めるととても真剣な目がかえってきて、感動した。
- ・先生のいないクラスでも、聞く姿勢が立派で気持ちよく読めた。
- ・最後に感想を聞かれた生徒は大変だなあと思った。感想は無くてもいいのではないかな。
- ・少しの時間でしたが、生徒が楽しかったとかホッとする時間だったと思ってくれたかな？
- ・反応も良く、最後の感想もしっかり述べてもらい、読み聞かせに参加してとても良かった、と、子どもたちから元気をもらえたとても素敵な朝になった。
- ・静かに聞いてもらったが、静かすぎて生徒たちの反応がよく分からなかったのが残念だった。
- ・教室に入ったときから「期待している」顔の生徒たちで、大変やりやすかった。
- ・お礼にいただいた合唱は、お金では買えない尊いもののプレゼントだった。至福を受け取った。
- ・慣れてきて、中学生との出会いが楽しみになってきた。今回の読み聞かせは「ボランティア育て」でもあることに気がついた。
- ・ほとんど全員の子が「感想を話したい」と手をあげているのには驚いた。
- ・思春期という難しい時期に、外部の人たちが入っての読み聞かせはその人の人柄に触れたりお話への期待があつたりで、とても良いのではないかな。
- ・中学生への読み聞かせは、1冊の本を深く読んだり理解しようとしたり頑張ったりで、自分自身のためにもなった。
- ・生徒たちの瞳が輝いて、楽しく読ませていただいた。
- ・とても良い雰囲気だった。最後に生徒から感想をもらったが、感想は聞かないほうがよい気がした。10分間の時間はむずかしい。絵本でも良いのでしょうか？
- ・途中で期間がきたため止められたのが、残念だった。
- ・生徒に感想を求めないでほしい。
- ・10分間で何が伝えられるか不安だったが、短い時間でも真剣に耳を傾けてくれた。瞳が美しかった。
- ・最終日にクラス全員で合唱をしてくれた。澄んだハーモニーが美しく、とてもうれしかった。
- ・本の絵のページを見せると、身を乗り出すように見つめる生徒もいて、読み手もつい力が入った10分間だった。
- ・朗詠というのは予想していなかったと思う。驚き、戸惑いの空気が流れたが、古典に親しむきっかけとなればうれしい。
- ・一週間続けて朝読書に入っていると「今日は誰がどんな話をするんだろう？」というような雰囲気で待っていてくれる。学校のお便りで「生のライブ感覚で、本を聞く！」と紹介されており、とても良い表現だと思った。

## ■生徒の感想

- ・小さい頃に読んだ本が、全然違う話に感じた。
- ・読み聞かせが新鮮で、何回も読んだことがある絵本が面白く感じられ、すごく楽しかった。
- ・毎朝、楽しく聞いていました。
- ・この取り組みを続けてもらえると嬉しいです。
- ・「子どもたちの遺言」は作者さんの詩が今の私に何かを気づかせてくれたような気がします。
- ・今回、絵本のおもしろさ、楽しさ、すばらしさを知ることができた。絵本を読んでみようと思った。
- ・普通に本を読んでいると分からないが、みんな読み聞かせだと感情をだして聞いていた。笑いながら聞くところなど、読書とは大きくちがっていた。

## ■学校の評価

生徒の読書に対する意識・行動の変化はあったか？

①あった 8校 ②無かった 0校 ③分からない 4校

- ・1年生では、休み時間に生徒どうして絵本の読み聞かせをしていた。
- ・読んでいただいた絵本を図書館にリクエストし、「また読みたい、他にも紹介したい」という気持ちがかがわれた。
- ・日頃、自分の好きなジャンルや作家の作品をなんとなく読んでいるという印象の朝読書だったが、「読んでいただく」、「静かに聞く」という姿勢ができ、メリハリがついた。
- ・朝の読書活動を集中して取り組む生徒が増えた。
- ・もっと読み聞かせをしてほしいという声があった。
- ・家庭での読書時間が増えた生徒がいた。いろいろな種類の本を読む意欲がわいた生徒がいた。
- ・地域の題材をもとにした内容や紙芝居であり、改めて地域を知るきっかけになった。

生徒の読書以外での変化はあったか？

①あった 3校 ②無かった 0校 ③分からない 9校

- ・静かに落ち着いた雰囲気ですら一日を始めようとする意識が高まった。
- ・いろいろな人間の様々な経験に興味を持てるようになった。
- ・物事に対する視点が変わったと答えた生徒がいた。
- ・ボランティアの方の話について、学年や学級をこえて内容を交流していた。

内容はどうだったか？

①良かった 11校 ②悪かった 0校 ③分からない 1校

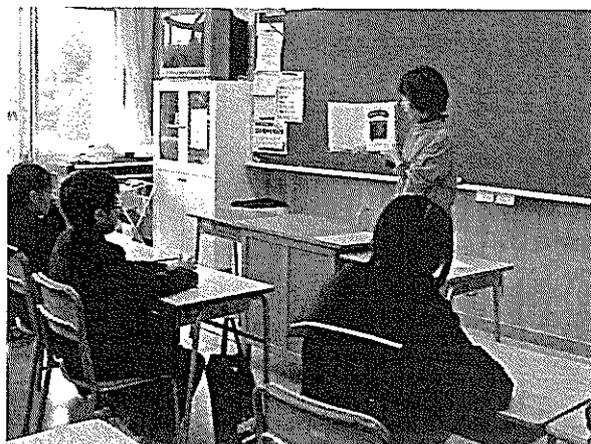
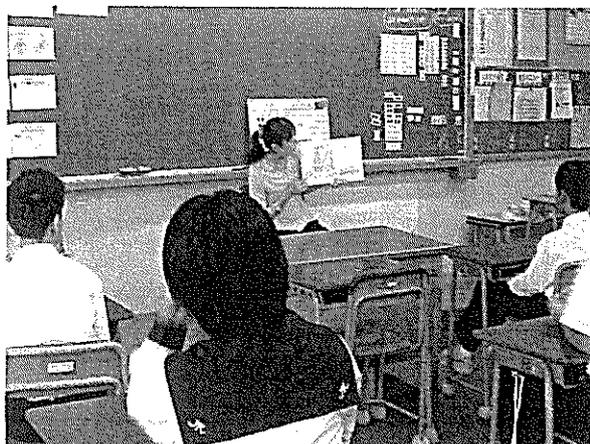
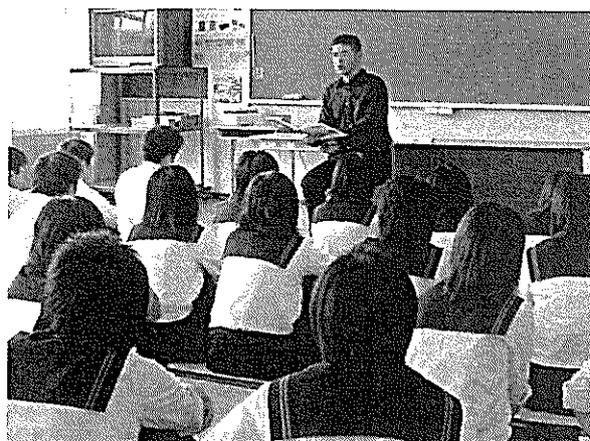
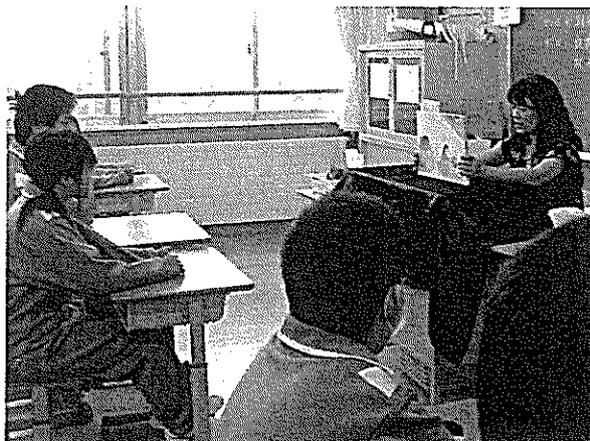
- ・聞いている子どもたちの表情がとても良かった。
- ・普段、生徒自身が選ぶことのないジャンルの本に接することができた。
- ・本を読んでもらうということが年齢が上がるにつれて減っていくが、人の声で届けられる本の内容は新鮮に聞こえゆっくりとした時間を過ごすことができた。
- ・何の作品を読んでいただくかにもよると思うが、初めてのボランティアさんによる読み聞かせだったため、「聞いただけ」に終わってしまったかもしれない。
- ・中学生対象の読み聞かせということで、ボランティアさんがどの本を読むかとても悩んだようだが、どの本も素晴らしいものであり、心のこもった読み聞かせだった。

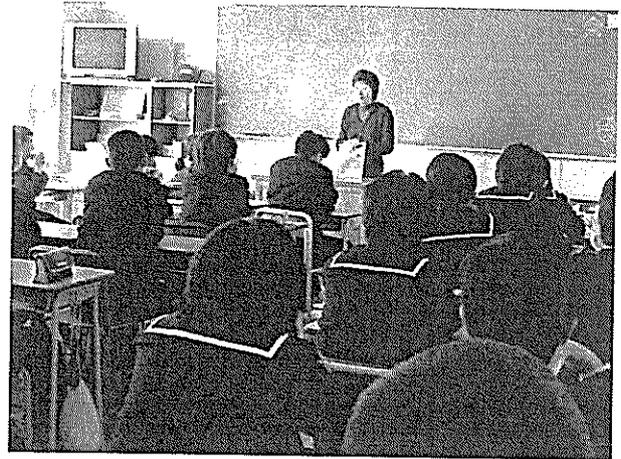
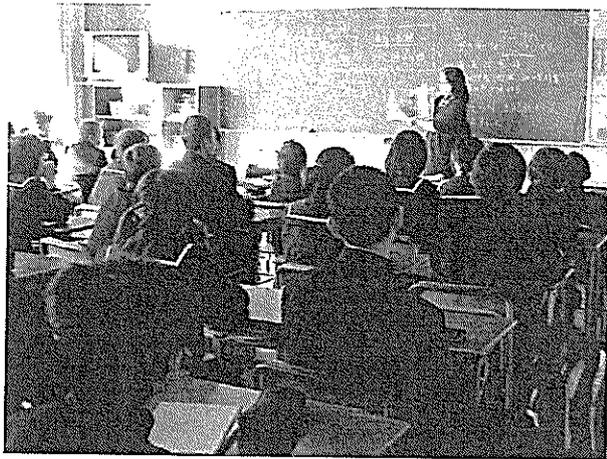
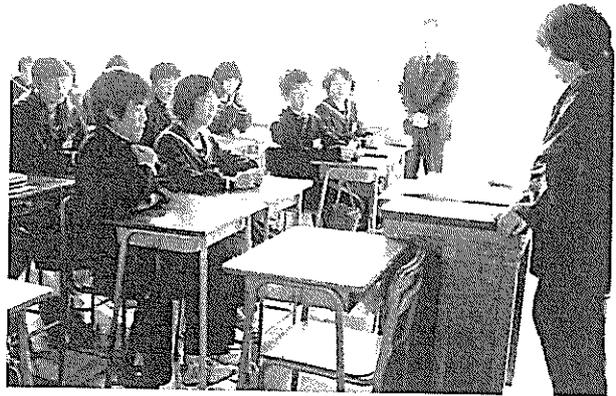
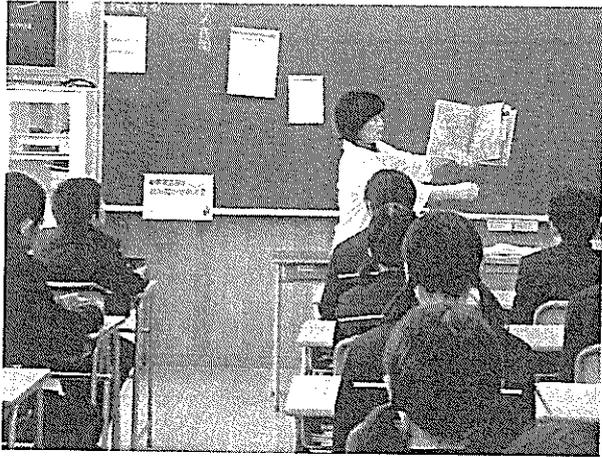
- ・ 心に残るものがたくさんあったようである。今までの自分を振り返り、考えさせられた生徒もいた。
- ・ 感動的な本を紹介されたので、生徒の心の中に残ったと思う。
- ・ 各自の思いでイメージを膨らませることができた。
- ・ 地域の題材などの読み聞かせだったので、地域理解ということでは良かったと思う。

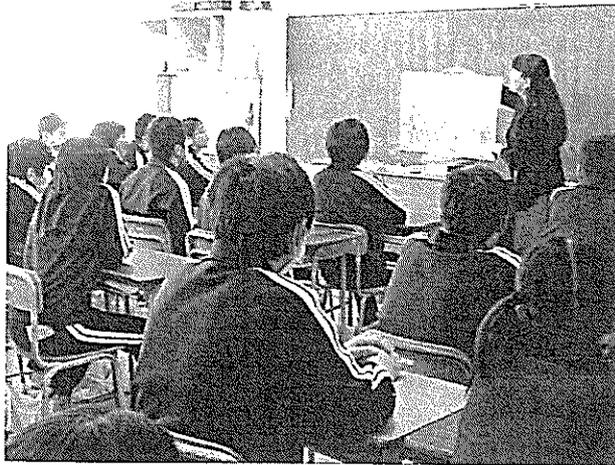
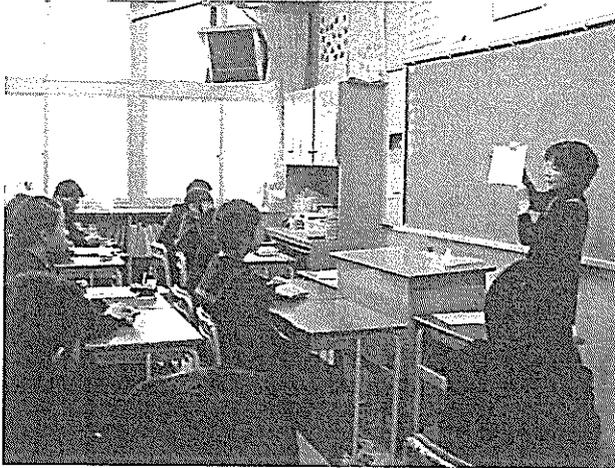
来年度以降の事業実施について、どのように考えるか？

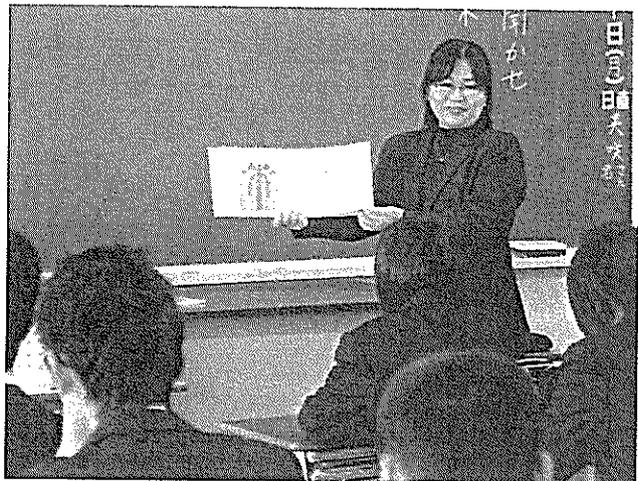
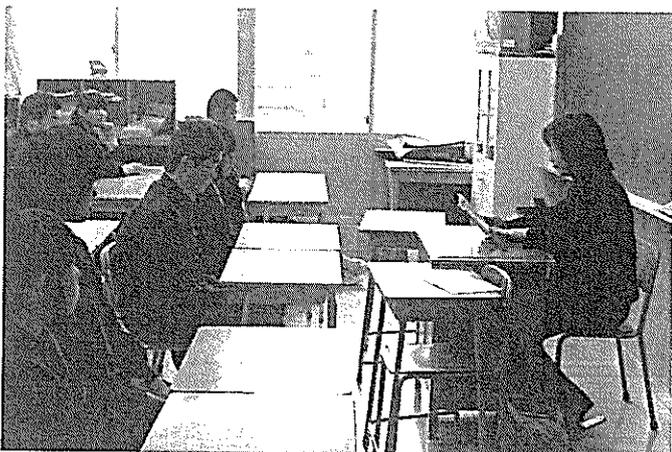
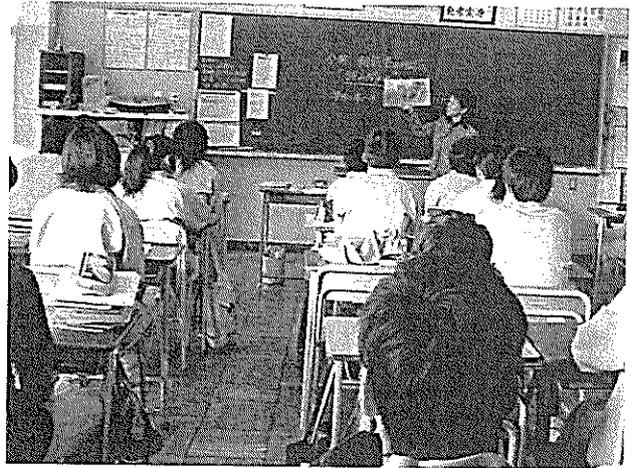
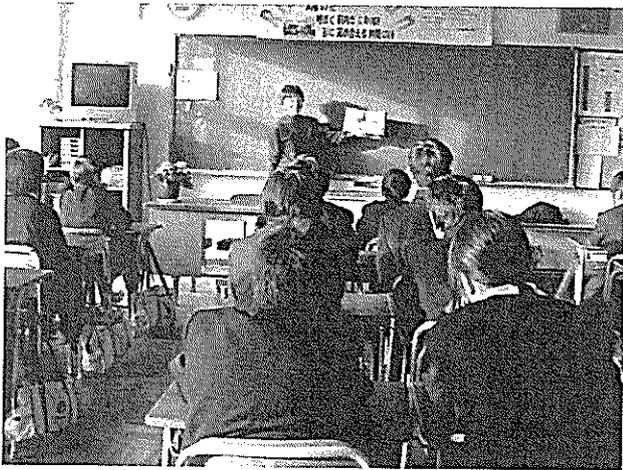
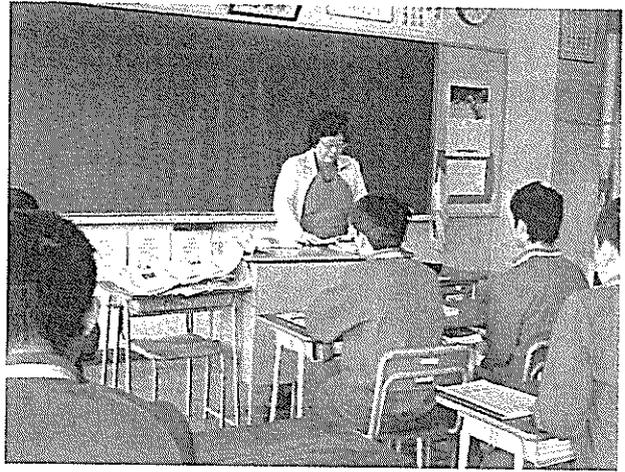
①実施したい 8校 ②実施は難しい 1校 ③分からない 3校

- ・ 「読み聞かせ」「ブックトーク」と区別せずに、秋～冬に1回程度、放課後の時間を使って、希望者を対象に行っていきたい。
- ・ ブックトークは、読書の意欲を高めるのにととも良いと思う。親子レク等の親と一緒にの事業として行えると良いと思う。その他の事業も時間のやりくりが合えば、是非、組み込んでいきたいが、今ははっきり明記できない。
- ・ 5～7月、9～11月の時期に、3～5回、の朝読書の時間の8:25～8:35に実施したい。
- ・ 今年度と同じような日時、回数、時間帯で良いと思う。
- ・ 読書週間に合わせて、一週間（4日間）8:20～8:30（10月末～11月初旬）に実施したい。
- ・ 学校だけでは、実施する場合には予算の関係で今年度のような回数や内容は難しいと思うが、朝読書の継続や読書活動の啓発など、継続できるものは続けていきたい。また、事業の継続については、今年度並みの実施であれば良いと思う。









## 事業を終えて

国民読書年の2010年、奥州市では独立行政法人国立青少年教育振興機構からの委託事業「地域ぐるみの子どもの読書活動推進事業」により、子どもの読書活動を推進するための各種事業を実施いたしました。

幼児・児童を対象としたおはなし会や読書ボランティアの研修会等、多くの方の参加、御協力をいただき、事業を実施することができましたが、特に中学生への読み聞かせについては、たくさんの日々の読み聞かせに読書ボランティアの皆さんから並々ならぬ御協力を賜りました。中学校からは「生徒の読書に対する姿勢が変わった」、「生徒の間で読み聞かせが始まった」との報告もあり、期待した以上の成果が見受けられました。

また、読書ボランティアの皆さんからも「読み聞かせの場が自分のスキルアップに繋がった」、「中学生の笑顔が励みになった」とのご意見も頂いており、多くの方から事業の継続実施を望む声、事業への協力の申し出が寄せられました。――→ H23も実施となりました。

委託事業は終えることとなりますが、「地域ぐるみの子どもの読書活動推進事業」の成果を踏まえたうえで「奥州市子どもの読書活動推進計画実施計画」を策定し、今回構築できた読書ボランティアの皆さんとの協力体制を大切にしながら、子どもたちが読書に親しめる環境の整備に努めてまいります。

最後に、お忙しい時間をさいてこの事業を支えていただいた関係者の皆さまに厚く御礼申し上げます。

平成23年1月

奥州市子ども読書活動推進事業実行委員会